

番号	フリガナ 橋 梁 名		橋 長		部 材 名	損 傷 種 類	対 策 区 分	部 材 毎 の 健 全 度	橋梁の健全度		所 見	全景写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真	
	(路線番号) 路線名		有 効 幅 員						過 年 度 点 検	今 回 点 検		内 容	内 容	内 容	内 容	内 容	内 容	
	径 間 数																	
	架 設 年																	
	交 差 物																	
点検日／点検方法		橋梁形式																
1	イマムラバシ 今村橋		橋 長	13.10 m	主桁	－	A	I	I	I	防護欄に落書きが見られる。 舗装、排水ますに土砂詰まりが見られる。							
	町道2004号線		有効幅員	5.00 m	横桁	－	－	－										
	架 設 年	1997年	径 間 数	1 径間	床版	－	B	I										
	交 差 物	上八間川	橋梁形式		下部構造	－	A	I										
	2022.10.20／梯子	プレテン床版	支承部	－	A	I	その他	落書き、土砂詰まり										M
2	フレアイバシ ふれあい橋		橋 長	13.55 m	主桁	ひびわれ	C1	II	II	II	主桁にひびわれが見られる。 下部構造に変形・欠損、沈下・移動・傾斜が見られる。 地覆に変形・欠損が見られる。 舗装に舗装の異常（ひびわれ）が見られる。							
	町道3017号線		有効幅員	5.39 m	横桁	－	－	－										
	架 設 年	1994年	径 間 数	1 径間	床版	－	B	I										
	交 差 物	ふれあい川	橋梁形式		下部構造	変形・欠損、沈下・移動・傾斜	C1	II										
	2022.10.28／船上	プレテン床版	支承部	－	A	I	その他	その他、変形・欠損、舗装の異常										C1
3	コウヤバシ 高谷橋		橋 長	13.15 m	主桁	－	A	I	I	I	舗装（背面道路）に路面の凹凸、舗装の異常（ひびわれ）が見られる。 舗装、排水ますに土砂詰まりが見られる。 下部構造、支承は護岸のため目視不可							
	町道2006号線		有効幅員	5.00 m	横桁	－	－	－										
	架 設 年	1997年	径 間 数	1 径間	床版	－	A	I										
	交 差 物	上八間川	橋梁形式		下部構造	－	－	－										
	2022.10.31／船上	プレテン床版	支承部	－	－	－	その他	路面の凹凸、舗装の異常、土砂詰まり										C1
4	シンスイバシ 親水橋		橋 長	13.50 m	主桁	ひびわれ	C1	II	II	II	主桁にひびわれが見られる。 下部構造に変形・欠損、沈下・移動・傾斜が見られる。 地覆にひびわれ、うき、変形・欠損が見られる。 伸縮装置にその他（目地材の変形）が見られる。							
	町道3020号線		有効幅員	5.38 m	横桁	－	－	－										
	架 設 年	1994年	径 間 数	1 径間	床版	－	A	I										
	交 差 物	ふれあい川	橋梁形式		下部構造	変形・欠損、沈下・移動・傾斜	C1	II										
	2022.10.28／船上	プレテン床版	支承部	－	A	I	その他	ひびわれ、うき、変形・欠損、その他										C1
5	ナミキナカツミバシ 並木中堤橋		橋 長	2.40 m	主桁	ひびわれ、漏水・遊離石灰、うき	C1	II	II	II	主桁（頂版）にひびわれ、うき、漏水・遊離石灰が見られる。							
	町道1003号線		有効幅員	7.80 m	横桁	－	－	－										
	架 設 年	1995年	径 間 数	1 径間	床版	－	－	－										
	交 差 物	水路	橋梁形式		下部構造	－	B	I										
	2022.10.26／梯子	RC床版橋（その他）	支承部	－	－	－	その他	－										B

→ ... 流水方向

◆点検結果総括表

単位: 橋

	I	II	III	IV	合計
令和4年度橋梁点検	10	14	1	0	25
過年度橋梁点検	10	12	3	0	25

対策区分の判定区分 【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

判定区分	判定の内容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事に対応する必要がある。
S1	詳細調査の必要性がある。
S2	追跡調査の必要性がある。

健全性の判定区分 【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

区 分	判定の内容
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

健全性判定の一般的な目安【参考】

健全性	対策区分
I	A, B
II	M, C1
III	C2
IV	E1, E2

橋梁の健全度は主要な部材(赤枠内)の健全度の最悪値を反映

番号	フリガナ 橋 梁 名		橋 長		部材名	損傷 種類	対策 区分	部材毎の 健全度	橋梁の健全度		所 見	全景写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真
	(路線番号) 路線名		有効幅員						過年度点検	今回点検							
	架 設 年		径 間 数														
	交 差 物		橋梁形式														
	点検日／点検方法																
6	コマツカサガバシ 小松片須賀橋		橋 長	2.86 m	頂版	-	B	I	I	I	継手に変形・欠損が見られる。						
			有効幅員	5.00 m	側壁	-	B	I									
	町道3107号線		径 間 数	1 径間	底版	-	A	I									
	架 設 年	1994年	橋梁形式	翼壁	-	-	-										
	交 差 物	水路	RC溝橋 (BOXカルバート)	継手	変形・欠損	C1	II										
2022.10.25／地上				その他	-	B	I										
7	ヤザキバシ 矢崎橋		橋 長	2.60 m	頂版	変形・欠損	C1	II	II	II	頂版に変形・欠損(橋梁範囲外)が見られる。継手に漏水・滯水・変形・欠損、その他(傾斜、隙間)が見られる。舗装に路面の凹凸、舗装の異常(ひびわれ)、その他(アスファルトの欠損)が見られる。						
			有効幅員	5.50 m	側壁	-	B	I									
	町道3008号線		径 間 数	1 径間	底版	-	A	I									
	架 設 年	1990年	橋梁形式	翼壁	-	-	-										
	交 差 物	水路	RC溝橋 (BOXカルバート)	継手	漏水・滯水・変形・欠損、その他	C1	II										
2022.10.24／地上				その他	路面の凹凸、舗装の異常、その他	C1	II										
8	カシキバシ 榎木橋		橋 長	2.50 m	主桁	-	B	I	II	II	下部構造に剥離・鉄筋露出、うきが見られる。舗装に舗装の異常(ひびわれ)が見られる。						
			有効幅員	3.50 m	横桁	-	-	-									
	町道3174号線		径 間 数	1 径間	床版	-	-	-									
	架 設 年	1970年	橋梁形式	下部構造	剥離・鉄筋露出、うき	C1	II										
	交 差 物	水路	RC 中実床版	支承部	-	A	I										
2022.10.24／地上				その他	舗装の異常	C1	II										
9	コマゴメバシ 駒込橋		橋 長	4.76 m	主桁	-	A	I	III	I	舗装に舗装の異常(ひびわれ)が見られる。 前回点検より補修済み						
			有効幅員	5.68 m	横桁	-	-	-									
	町道1008号線		径 間 数	1 径間	床版	-	-	-									
	架 設 年	1970年	橋梁形式	下部構造	-	B	I										
	交 差 物	水路	RC 中実床版	支承部	-	A	I										
2022.10.24／地上				その他	舗装の異常	C1	II										
10	サカイバシ 境橋		橋 長	11.80 m	主桁	剥離・鉄筋露出、うき	C1	II	II	II	主桁に剥離・鉄筋露出、うきが見られる。						
			有効幅員	3.00 m	横桁	-	-	-									
	町道3011号線		径 間 数	1 径間	床版	-	B	I									
	架 設 年	1957年	橋梁形式	下部構造	-	A	I										
	交 差 物	浄向川	RC T桁	支承部	-	B	I										
2022.10.26／梯子				その他	-	B	I										

… 流水方向

◆点検結果総括表

単位: 橋

	I	II	III	IV	合計
令和4年度橋梁点検	10	14	1	0	25
過年度橋梁点検	10	12	3	0	25

対策区分の判定区分

【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

判定区分	判定の内容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事で対応の必要がある。
S1	詳細調査の必要がある。
S2	追跡調査の必要がある。

健全性の判定区分

【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

区 分	判定の内容
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

健全性判定の一般的な目安【参考】

健全性	対策区分
I	A、B
II	M、C1
III	C2
IV	E1、E2

橋梁の健全度は主要な部材(赤枠内)の健全度の最悪値を反映

番号	ﾌｳｶﾞﾅ 橋 梁 名		橋 長		部 材 名	損 傷 種 類	対 策 区 分	部 材 毎 の 健 全 度	橋梁の健全度		所 見	全 景 写 真	損 傷 写 真	損 傷 写 真	損 傷 写 真	損 傷 写 真	損 傷 写 真
	(路線番号) 路線名		有 効 幅 員						過 年 度 点 検	今 回 点 検							
	径 間 数		橋 梁 形 式														
	架 設 年		支 承 部														
	交 差 物		舗 装 状 況														
点検日／点検方法		その他		その他		その他		その他		その他		その他		その他		その他	
11	マツザキニゴウバン 松崎2号橋		橋 長	9.40 m	主桁	-	A	I	I	II	床版に漏水・遊離石灰が見られる。 防護欄にゆるみ・脱落が見られる。 舗装に土砂詰まりが見られる。						
	町道2015号線		有効幅員	4.00 m	横桁	-	-	-									
	架 設 年	1980年	橋梁形式	下部構造	-	A	I										
	交 差 物	水路	プレテン床版	支承部	-	B	I										
	2022. 10. 28／船上			その他	ゆるみ・脱落、土砂詰まり	M	II										
12	コオリエグチバン 郡江口橋		橋 長	7.00 m	主桁	-	B	I	I	I	伸縮装置にその他(目地材の欠損)が見られる。						
	町道3002号線		有効幅員	4.03 m	横桁	-	-	-									
	架 設 年	1972年	橋梁形式	下部構造	-	B	I										
	交 差 物	上八間川	RC T桁	支承部	-	A	I										
	2022. 10. 20／地上			その他	その他(目地材の欠損)	C1	II										
13	ナミキタコネバン 並木田向根橋		橋 長	3.20 m	主桁	-	B	I	III	I	目立った損傷は無い 前回点検より補修済み						
	町道3004号線		有効幅員	4.00 m	横桁	-	-	-									
	架 設 年	1985年	橋梁形式	下部構造	-	A	I										
	交 差 物	水路	RC桁橋 (その他)	支承部	-	A	I										
	2022. 10. 31／梯子			その他	-	A	I										
14	マツザキイチゴウバン 松崎1号橋		橋 長	10.40 m	主桁	-	B	I	I	II	床版に漏水・遊離石灰が見られる。 防護欄に変形・欠損が見られる。 舗装に土砂詰まりが見られる。						
	町道3010号線		有効幅員	4.00 m	横桁	-	-	-									
	架 設 年	1970年	橋梁形式	下部構造	-	A	I										
	交 差 物	水路	プレテン床版	支承部	-	B	I										
	2022. 10. 26／地上			その他	土砂詰まり等	M	II										
15	ムコウヤバン 向野橋		橋 長	10.00 m	主桁	-	B	I	II	II	下部構造にひびわれ、沈下・移動・傾斜、洗掘、その他(植生)が見られる。 舗装に舗装の異常(ひびわれ)、土砂詰まり、その他(植生)が見られる。						
	町道2015号線		有効幅員	3.50 m	横桁	-	B	I									
	架 設 年	1985年	橋梁形式	下部構造	ひびわれ、沈下・移動・傾斜、洗掘、その他	C1	II										
	交 差 物	神崎川	RC桁橋 (その他)	支承部	-	A	I										
	2022. 10. 25／地上			その他	舗装の異常、土砂詰まり、その他	C1	II										

→ … 流水方向

◆点検結果総括表

単位: 橋

	I	II	III	IV	合計
令和4年度橋梁点検	10	14	1	0	25
過年度橋梁点検	10	12	3	0	25

対策区分の判定区分

【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

判定区分	判定の内容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事で対応する必要がある。
S1	詳細調査の必要がある。
S2	追跡調査の必要がある。

健全性の判定区分

【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

区 分	判定の内容
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

健全性判定の一般的な目安【参考】

健全性	対策区分
I	A、B
II	M、C1
III	C2
IV	E1、E2

橋梁の健全度は主要な部材(赤枠内)の健全度の最悪値を反映

番号	フリガナ 橋 梁 名		橋 長		部材名	損傷種類	対策区分	部材毎の健全度	橋梁の健全度		所 見	全景写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真
	(路線番号) 路線名		有効幅員						過年度点検	今回点検							
	径 間 数																
	橋梁形式																
	点検日／点検方法																
16	ホンシュクナガタバシ 本宿長田橋		橋 長	3.25 m	主桁	－	B	I	I	I	舗装に路面の凹凸が見られる。						
	町道3073号線		有効幅員	3.40 m	横桁	－	－	－									
			径 間 数	1 径間	床版	－	－	－									
	架 設 年	1975年	橋梁形式		下部構造	－	B	I									
	交 差 物	水路	RC 中実床版		支承部	－	A	I									
	2022.10.20／地上				その他	路面の凹凸	C1	II									
17	オオヌキバシ 大貫橋		橋 長	5.10 m	主桁	ひびわれ	C1	II	II	II	主桁にひびわれが見られる。下部構造に洗掘が見られる。舗装に路面の凹凸、舗装の異常(ひびわれ)、その他(アスファルトの欠損)、漏水・滲水が見られる。						
	町道3084号線		有効幅員	6.40 m	横桁	－	－	－									
			径 間 数	1 径間	床版	－	－	－									
	架 設 年	1975年	橋梁形式		下部構造	洗掘	C1	II									
	交 差 物	水路	RC 中実床版		支承部	－	A	I									
	2022.10.24／梯子				その他	路面の凹凸、舗装の異常、その他、漏水・滲水	C1	II									
18	コマツイリウダバシ 小松入宇田橋		橋 長	2.92 m	頂版	－	B	I	I	I	防護欄にその他(反射板の欠損)が見られる。						
	町道3108号線		有効幅員	3.00 m	側壁	－	A	I									
			径 間 数	1 径間	底版	－	A	I									
	架 設 年	1970年	橋梁形式		翼壁	－	－	－									
	交 差 物	水路	RC溝橋 (BOXカルバート)		継手	－	A	I									
	2022.10.26／地上				その他	その他	M	II									
19	タケダヤハタバシ 武田八幡橋		橋 長	2.45 m	頂版	ひびわれ、漏水・遊離石灰	C1	II	II	II	頂版にひびわれ、漏水・遊離石灰が見られる。側壁、底版にひびわれが見られる。						
	町道3137号線		有効幅員	7.60 m	側壁	ひびわれ	C1	II									
			径 間 数	1 径間	底版	ひびわれ	C1	II									
	架 設 年	1970年	橋梁形式		翼壁	－	－	－									
	交 差 物	水路	RC溝橋 (BOXカルバート)		継手	－	－	－									
	2022.10.24／地上				その他	－	B	I									
20	コガネバシ 黄金橋		橋 長	13.52 m	主桁	ひびわれ	C1	II	II	II	主桁にひびわれが見られる。下部構造にうき・変形・欠損、沈下・移動・傾斜、その他(船の不法投棄)が見られる。防護欄(橋名板)にゆるみ・脱落が見られる。伸縮装置にその他(目地材の変形)が見られる。舗装に路面の凹凸が見られる。						
	町道3224号線		有効幅員	5.39 m	横桁	－	－	－									
			径 間 数	1 径間	床版	－	B	I									
	架 設 年	1994年	橋梁形式		下部構造	うき・変形・欠損、沈下・移動・傾斜、その他	C1	II									
	交 差 物	ふれあい川	プレテン床版		支承部	－	A	I									
	2022.10.31／地上				その他	ゆるみ・脱落、舗装の凹凸、その他	C1	II									

→ … 流水方向

◆点検結果総括表

単位: 橋

	I	II	III	IV	合計
令和4年度橋梁点検	10	14	1	0	25
過年度橋梁点検	10	12	3	0	25

対策区分の判定区分

【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

判定区分	判定の内容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事で対応する必要がある。
S1	詳細調査の必要性がある。
S2	追跡調査の必要性がある。

健全性の判定区分

【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

区 分	判定の内容
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

健全性判定の一般的な目安【参考】

健全性	対策区分
I	A、B
II	M、C1
III	C2
IV	E1、E2

橋梁の健全度は主要な部材(赤枠内)の健全度の最悪値を反映

番号	フリガナ 橋 梁 名 (路線番号) 路線名 架 設 年 交 差 物 点検日／点検方法	橋 長		部 材 名	損 傷 種 類	対 策 区 分	部 材 毎 の 健全度	橋梁の健全度		所 見	全景写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真	損傷写真
		有効幅員						過 年 度 点 検	今 回 点 検		内 容	内 容	内 容	内 容	内 容	内 容
		径 間 数														
		橋梁形式														
		橋梁形式														
21	コオリオオスガセンバシ 郡大須賀線橋	橋 長	19.00 m	主桁	ひびわれ	C1	II	II	II	主桁(頂版)にひびわれが見られる。 下部構造(側壁)にその他(落書き)が見られる。 防護欄にゆるみ・脱落が見られる。 舗装、排水ますに土砂詰まりが見られる。 排水管に腐食、破断、変形・欠損が見られる。						
	町道1004号線	径 間 数	1 径間	床版	-	-	-				左側が起点	主桁：ひびわれ	下部構造：その他(落書き)	防護欄：ゆるみ・脱落	舗装：土砂詰まり	排水管：破断
	架 設 年	1982年	橋梁形式	下部構造	その他	M	II									
	交 差 物	郡停車場大須賀線	RC溝橋 (BOXカルバート)	支承部	-	-	-									
	2022. 10. 27／高所作業車	その他	腐食、破断、ゆるみ・脱落、変形・欠損、土砂詰まり	M	II											
22	ケナリバシ 毛成橋	橋 長	17.10 m	主桁	剥離・鉄筋露出	C1	II	III	III	主桁、床版に剥離・鉄筋露出が見られる。 下部構造にひびわれ、剥離・鉄筋露出、沈下・移動・傾斜が見られる。 支承部に腐食が見られる。 防護欄に腐食、変形・欠損、舗装に舗装の異常(ひびわれ)、土砂詰まりが見られる。						
	町道3145号線	径 間 数	3 径間	床版	剥離・鉄筋露出	C1	II				左側が起点	主桁：剥離・鉄筋露出	床版：剥離・鉄筋露出	橋脚：沈下・移動・傾斜	支障：腐食	防護欄：変形・欠損
	架 設 年	1959年	橋梁形式	下部構造	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、沈下・移動・傾斜	C2	III									
	交 差 物	大須賀川	RC桁橋 (その他)	支承部	腐食	C1	II									
	2022. 10. 21／梯子	その他	腐食、舗装の異常、変形・欠損、土砂詰まり	C2	III											
23	ナミキナカツツミニゴウバシ 並木中堤2号橋	橋 長	2.60 m	主桁	ひびわれ、漏水・遊離石灰	C1	II	II	II	主桁にひびわれ、漏水・遊離石灰が見られる。 下部構造、支承部は水路構造物により近接目視不可						
	町道1002号線	径 間 数	1 径間	床版	-	-	-				左側が起点	主桁：ひびわれ	主桁：ひびわれ	主桁：漏水・遊離石灰		
	架 設 年	2013年	橋梁形式	下部構造	-	-	-									
	交 差 物	水路	RC床版橋 (その他)	支承部	-	-	-									
	2022. 10. 20／梯子	その他	-	-	B	I										
24	マツザキナカタニバシ 松崎中谷橋	橋 長	3.85 m	頂版	-	B	I	I	I	舗装に舗装の異常(ひびわれ)が見られる。						
	町道2003号線	径 間 数	1 径間	底版	-	A	I				左側が起点	舗装：舗装の異常				
	架 設 年	1993年	橋梁形式	翼壁	-	-	-									
	交 差 物	水路	RC溝橋 (BOXカルバート)	継手	-	B	I									
	2022. 10. 25／地上	その他	舗装の異常	C1	II											
25	コマツカタスガニゴウキョウ 小松片須賀2号橋	橋 長	3.88 m	頂版	-	B	I	I	I	目立った損傷はない						
	町道2002号線	径 間 数	1 径間	底版	-	A	I				左側が起点					
	架 設 年	1993年	橋梁形式	翼壁	-	-	-									
	交 差 物	水路	RC溝橋 (BOXカルバート)	継手	-	B	I									
	2022. 10. 25／梯子	その他	-	-	B	I										

→ ... 流水方向

◆点検結果総括表

単位: 橋

	I	II	III	IV	合計
令和4年度橋梁点検	10	14	1	0	25
過年度橋梁点検	10	12	3	0	25

対策区分の判定区分

【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

判定区分	判定の内容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事で対応の必要がある。
S1	詳細調査の必要がある。
S2	追跡調査の必要がある。

健全性の判定区分

【橋梁点検要領(平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課)】

区 分	判定の内容
I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

健全性判定の一般的な目安【参考】

健全性	対策区分
I	A, B
II	M, C1
III	C2
IV	E1, E2

橋梁の健全度は主要な部材(赤枠内)の健全度の最悪値を反映